

# ワンデー バイオメディックス EV

再使用禁止

- 【警告】**
1. レンズの装用により、角膜潰瘍、角膜炎（感染性角膜炎を含む）、角膜浸潤、角膜びらん等の角膜上皮障害、角膜浮腫、結膜炎（巨大乳頭結膜炎を含む）、虹彩炎、角膜血管新生等が発症する可能性及び角膜内皮細胞の減少を早める可能性があります。
  2. レンズの装用による眼障害の中には、治療せずに放置すると失明につながるものがあります。
  3. 上記のような障害の発生を防ぐために次のことを守ってください。  
(1) **装用時間を正しく守ること**  
装用時間には個人差があります。眼科医から指示された装用時間を守ってください。
  - (2) **使用期間を守ること**  
本レンズは長期使用のレンズと異なり1日で新しいレンズと交換する使い捨てレンズです。
  - (3) **取扱方法を正しく使用すること**  
レンズの取扱方法を誤ると眼障害につながる可能性があります。レンズは清潔に保ち正しい取扱方法を守ってください。
  - (4) **定期検査を受けること**  
自覚症状がなく調子よく装用していても目やレンズにキズがついたり、眼障害が進行していることがあります。異常がなくても眼科医に指示された定期検査を受けてください。
  - (5) **異常を感じたら直ちに眼科を受診すること**  
レンズ装用前に目やニヤや充血がないか、またレンズをつけた後も異物感等がないか確認し、異常を感じたら眼科を受診してください。
  - (6) **破損等の不具合があるレンズは絶対に使用しないこと**  
レンズ装用前にレンズに破損等の不具合がないか確認し、不具合が認められたレンズは装用しないでください。装用中にレンズの破損等の不具合により症状が発生し改善しない場合、眼科を受診してください。

- 【禁忌・禁止】**
1. 次の人は使用できません。
    - ・前眼部の急性及び亜急性炎症 ・眼感染症 ・ぶどう膜炎
    - ・角膜知覚低下 ・レンズ装用に問題となる程度のドライアイ及び涙器疾患 ・眼瞼異常 ・レンズ装用に影響を与える程度のアレルギー疾患 ・常時乾燥した生活環境にいる人 ・粉塵、薬品等が目に入りやすい生活環境にいる人 ・医師の指示に従うことが出来ない人 ・レンズを適切に使用できない人 ・定期検査を受けられない人 ・レンズ装用に必要な衛生管理を行えない人
    - ・その他医師がレンズ装用に不適と判断した人
  2. **使用方法**  
レンズは1度目からはずしたら再使用せず廃棄してください。

- 【形状・構造及び原理等】**
- ソフトコンタクトレンズ分類：グループIV  
構成モノマー：2-ヒドロキシエチルメタクリレート、メタクリル酸着色剤：アントラキノン系着色剤  
保存液の主成分：塩化ナトリウム、緩衝剤（リン酸系又は炭酸系）  
原理：コンタクトレンズに付加された頂点屈折力により視力を補正する。

**【使用目的又は効果】**  
視力補正、終日装用（1日毎の定期交換）

- 【使用方法等】**  
終日装用  
1日使い捨て  
**【使用方法に関連する使用上の注意】**

1. **レンズの着脱**
- (1) **レンズを取扱う前に**
  - ・目やレンズにキズをつけないように爪はいつも短く切ってなめらかにしてください。
  - ・レンズに触れる前には、手を石鹸でよく洗い、水道水でよくすすいでください。
- (2) **プリスターバックの開け方**
  - ・プリスターバックをしっかりと持ち、アルミシールの端を手指が滑らないように、しっかりと摘みアルミシールを丁寧にはがしてください。
  - ・開封時にアルミシールで手指を切らないように注意してください。
  - ・アルミシールをはがすときに保存液が飛び出すことがあるので注意してください。

- (3) **プリスターバックからの取り出し方**  
レンズをキズつけないように指の腹でそっと取り出します。
  - ・レンズがアルミシールの裏側やプリスターバックに付着している場合があります。その場合は、レンズをキズつけないように注意して取り出してください。
- (4) **レンズチェック**  
装用前にレンズの左右、表裏を確認してください。
  - ・レンズには、左右、表裏があります。入れ違えると、異物感、見えにくいなどの症状の原因になります。
- (5) **レンズのつけ方**
  - 1) レンズの凹面を上にして、利き手の人差し指の先端に載せ、同じ手の中指で下まぶたを下げ、もう一方の手の人差し指で上まぶたを持ち上げ目を大きく開けてください。
    - ・まつ毛の生え際を押さえると目を大きく開けることができます。
  - 2) 鏡を見ながらレンズをゆっくり目に近づけ、角膜（黒目）にそっと載せてください。
    - ・レンズがはずれる場合がありますので、レンズが角膜に載るまでは両目をしっかり開けておいてください。**注意：目をキズつける場合がありますので指先や爪が直接目に触れないようにしてください。目にレンズを強く押しつけないでください。**
- 3) レンズが正しく角膜の上に乗ったことを鏡で確認し、まぶたを押さええている指をそっと離し、ゆっくりとまばたきをしてください。
  - ・レンズと角膜の間に気泡が入る場合がありますが、ゆっくりとまばたきをすると気泡は抜けます。**注意：まぶたを押さええている指を急に離したり、強く目を閉じるとレンズがはずれることがあります。**

- (6) **レンズのはずし方**
  - 1) 鏡を見てレンズが角膜に乗っていることを確認します。少しあごを引き上目づかいで鏡を見てください。
  - 2) 利き手の中指で下まぶたを引き下げてください。
  - 3) 利き手の人差し指と親指でレンズの下方を軽くつまんではずしてください。**注意：レンズが目にはずれていると感じた場合は、レンズを無理にはずさず以下の方法に従ってください。無理にはずそうすると目をキズつけたり、レンズが破損することがあります。**
  - ・何回か強いまばたきをする、あるいは人工涙液を点眼し、張りつきを感じなくなったらはずしてください。

2. **装用スケジュール**  
本レンズは終日装用、1日使い捨てレンズです。  
1) レンズは起きている間に装用し寝る前にはずしてください。
- | 装用日数 | 1日目 | 2日目 | 3日目  | 4日目  | 5日目  | 6日目以降 |
|------|-----|-----|------|------|------|-------|
| 装用時間 | 6時間 | 8時間 | 10時間 | 12時間 | 14時間 | 終日装用  |

- 2) 装用を中断した場合
  - ・1週間未満の場合は、初日から終日装用が可能です。
  - ・1週間以上中断した場合は、はじめて装用する場合と同じように上記の表を参考に開始してください。
  - ・1か月以上中断した場合は、眼科医の診察を受けてから装用を開始してください。

3. **定期検査**  
レンズを快適かつ安全に装用するために、定期検査を必ず受けてください。  
定期検査は、レンズ装用開始から1週間後、1ヵ月後、3ヵ月後、以降3ヵ月毎に、又は眼科医の指示に従って受けてください。

- 【使用上の注意】**
1. **重要な基本的注意**  
レンズを使用する前に添付文書をよく読み、わからないことは眼科医に確認してください。添付文書は必要なときに読めるように保管してください。
2. **装用時の症状と対処方法**
  - ・レンズに慣れるまでは、以下のような症状が見られることがあります。慣れるに従って解消されます。しかし、このような症状が長く続いたり、症状が強い場合は眼科を受診してください。  
軽い異物感、軽い充血、視力不安定、涙が多く出る、目のかゆみ、光がにじんで見える

・レンズに慣れてからも下表に示すような症状が見られることがあります。下記の対処方法で改善しない場合は、装用を中止して眼科を受診してください。

症状	考えられる原因	対処方法
異物感 痛み	レンズの汚れ、キズ、変形、乾燥、異物 眼疾患 疲労体調不良 装用過多	・新しいレンズと交換する。 ・人工涙液を点眼する。 ・体調が回復後装用する。 ・装用時間を短くする。
かゆみ	レンズの汚れ アレルギー	・新しいレンズと交換する。
くもる 視力不安定 見えにくい	レンズの汚れ、キズ、乾燥 装用過多 レンズの左右、表裏が逆	・新しいレンズと交換する。 ・人工涙液を点眼する。 ・装用時間を短くする。
しみる 涙がたくさん出る	レンズの汚れ、キズ 装用過多 眼疾患	・新しいレンズと交換する。 ・装用時間を短くする。
目ヤニがでる	アレルギー レンズのキズ 疲労体調不良 眼疾患	・新しいレンズと交換する。 ・体調が回復後装用する。
疲労感 充血	体調不良 装用過多 眼疾患	・体調が回復後装用する。 ・装用時間を短くする。
乾燥感	レンズの乾燥	・まばたきの回数を増やす。 ・人工涙液を点眼する。
レンズがずれる	レンズがあっていない レンズの変形、汚れ レンズの表裏が逆	・新しいレンズと交換する。
はずした後の痛み	装用過多 体調不良 眼疾患	・装用時間を短くする。 ・体調が回復後装用する。

### 3. 不具合・有害事象

#### (1) 不具合

レンズに次の不具合が発生することがあります。

- ・レンズの異常（破損、変色、変形、キズ、汚れ）
- ・レンズへの異物付着

#### (2) 有害事象

レンズの装用により次の有害事象が発生することがあります。  
角膜炎、角膜炎、角膜穿孔、角膜浸潤、角膜びらん、角膜炎（感染性角膜炎を含む）、角膜上皮ステイニング（点状表層角膜症を含む）等の角膜上皮障害、角膜浮腫、角膜血管新生、結膜炎（巨大乳頭結膜炎を含む）、アレルギー性結膜炎、結膜下出血、虹彩炎、麦粒腫、マイボーム腺炎、霰粒腫、調節性眼精疲労、ドライアイ、角膜内皮細胞の減少

### 4. 小児、妊産婦、アレルギー疾患等への適用

- ・小児にレンズを使用させる場合は保護者の指導監督のもとに使用させてください。
- ・妊産婦や経口避妊薬を服用している場合は角膜形状が変化しレンズの装用状態が変化することがあるので注意してください。
- ・アレルギー疾患がある場合、有害事象が現れる可能性が高いので注意してください。

### 5. その他の注意

- ・レンズに強い力を加えたり、折り曲げたり、ひねったり、つめを立てたり、紙や布等でこすらないでください。
- ・レンズ装用中に目をこすらないでください。
- ・化粧はレンズをつけてから行ってください。化粧落としはレンズをはずしてから行ってください。
- ・人工涙液は防腐剤を含まないものを使用してください。それ以外の点眼薬は眼科医の指示を受け使用してください。点眼薬の成分によっては、レンズの装用に影響を及ぼすことがあります。
- ・レンズに慣れるまでは車の運転や機械操作は行わないでください。
- ・自分のレンズを他人に渡したり他人のレンズを使用しないでください。
- ・レンズを装用してテレビやコンピューター、携帯電話の画面を長時間見続けると、目が乾くことがあるため意識してまばたきをしてください。
- ・レンズ乾燥の原因となるため空調や扇風機等の風を目に長時間当てないでください。
- ・レンズを装用してスポーツをする場合は、事前に眼科医に相談してください。
- ・水泳の際はレンズをはずしてください。
- ・眼障害のために装用を中断した場合は、眼科医の指示に従い再装用の許可が出てから装用してください。

### \*\*【保管方法及び有効期間等】

#### 1. 保管方法

直射日光及び凍結を避けて室温で保管してください。

#### 2. 使用期限

レンズの使用期限はレンズの外箱及びプリスターパックに表示されています。表示された使用期限を過ぎたものは使用しないでください。

☒EXPが使用期限を示します。

例：☒ EXP 2019/03又は2019-03-31

### \*\*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

#### 【製造販売元】

クーパービジョン・ジャパン株式会社

TEL 03-5449-6511

#### 【製造元】

クーパービジョン インク / 米国

CooperVision, Inc. / U.S.A.

#### <症状に関するお問い合わせ>

レンズ装用にもなう目の症状等については、処方された眼科・クリニックにご相談ください。

#### <製品に関するお問い合わせ・ご相談>

レンズの品質には万全を期しておりますが、万一レンズに破損やその他の不具合があった場合は、決して使用せずに、下記フリーコールまでご相談ください。

☎0120-132-410 [月～金] 9:00～17:00 (祝日は休み)

www.coopervision.jp